住み心地のいい理想の家をつくりたい――それをかなえるのが“建築家とつくる家”

「ディアロ」のロゴマーク Dialo

建築家とつくる家づくり「ディアロ」 **信和建設** http://dialo.exblog.jp/

マイホーム建築は、家族にとって人生の大仕事。「住み心地のいい〝理想の家〟をつくりたい」―それは誰もが願うことですよね。皆さんのその思いを形にしてくれるのが「建築家」の人たち。そして、「お客さま」である施主を中心に、建築家と施工会社の三者が何度も話し合いを重ね、〝三位一体〟となって理想の家づくりを進めていくのが、信和建設の「建築家とつくる家づくり『Dialo(ディアロ)』」です。

〝建築家とつくる家〟と聞くと、「ハードルが高そう」「特別な人たちの家なのでは?」―そんなイメージがあるかもしれません。では一体、どんな家なのでしょうか? 建築家の高橋岳志さんに話を伺いました。

「〝レストラン〟で説明してみると分かりやすいかもしれません。お客さまの要望が食材だとすると、建築家はシェフ。お客さまからのオーダーを受ける時に好みなどを聞いて、それに自分のアイデアやデザインを加えて提案し、もともとの食材以上のおいしい創作料理が出来上がるイメージです。その要望というのが、家族構成や家族の趣味、現在の生活スタイルや将来のライフプランだったりします。それをどう調理し、味付けをし、食材の良さを際立たせてお客さまに幸せな時間をお届けできるか。予算の中で、その方の好みに合った料理をお出しすることも、建築家の腕の見せ所です」。

高橋岳志さん設計の「柏木の家」。空間を有効に使ったスキップフロアの家です。床や天井の素材、収納の高さに至るまで、建築家ならではの綿密な計算がうかがえます。キッチンの上部はサブリビングになっています

高橋岳志さん設計の「柏木の家」を、いろいろな角度から撮影。写真上はリビング、下はダイニングとキッチン。家族の存在を感じながら、程よい距離感をゆるやかにつないでいます

「やはりお客さまからのヒアリングです。それを元に平面図、立面図、展開図や詳細図などの図面、模型を使って見える形にしていく。施主はもちろん、施工会社との意思疎通も図りながら、三位一体となって家づくりを進めています。そして家だけではなく、住む方の生活全体が快適になる提案をしていく。それも建築家の役目です」。

だからこそ、住宅完成時には〝うれしい驚き〟にあふれています。

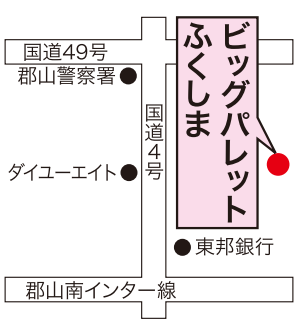
住宅完成時の〝うれしい驚き〟

形が決まった家ではなく、全てがオーダーメード。完成するまでには綿密な打ち合わせと長い時間が必要です。理想を形にするのは大変なことですが、建築家の皆さんが一番力を入れる過程は?

4月16日(土)・17日(日)「建築家とつくる家づくり展」開催

今年、家づくりを考えている方は、4月16日(土)・17日(日)にビッグパレットふくしまで開催される「建築家とつくる家づくり展」へ来場してみませんか? このイベントで建築家と出会い、家づくりをスタートした方も多くいるそう。当日は高橋岳志さんをはじめ、地元の気候や風土を知り尽くした郡山在住の4人の建築家の話が聞けますよ。建築実例を交えながら、分かりやすく説明してくれます。予約不要なので気軽にどうぞ。

▼開催日時　4月16日(土)・17日(日)　午前10時30分～午後4時30分
▼会場　ビッグパレットふくしま3階　中会議室B
▼入場料　無料
▼主催　信和建設
▼共催　高橋岳志建築設計事務所、市川設計スタジオ、TAKA建築設計室、前原尚貴建築設計事務所



☎024(952)9001